

くじ 籤取り式

籤取り式は、約350年前から続いています。曳山には先山と後山があり、それは毎年交互に変わります。先山は、1番町の古新町を除いて、2番から7番までの曳山のことであり、後山は8番から13番の曳山のことです。先山と後山の区別は、内川を境目に決められています。籤取り式は、この先山と後山を決める儀式です。大伴宮司のお話があり、次に巫女の舞を行います。そして、役員が榊を奉納します。古新町は1番なので、最初に読み上げられます。その後、去年最後だった町から籤を順番に引いていきます。去年後山だった町は先山の籤をひき、先山だった町は後山の籤を引きます。

